

[東京外国語大学](#) > [TUFS Cinema](#) > [TUFSCinema上映作品](#) > 上映会『プライス・オブ・フリー』

上映会『プライス・オブ・フリー』

2018年12月19日 [TUFSCinema上映作品](#)

上映後フリートーク 萬宮健策（本学准教授）× 小田マサノリ（現代美術家、本学非常勤講師）× 真島一郎（本学教授）



開催情報

児童労働がなくなるのは、貧困が理由ではない。
政治的意志が足りないから、児童労働がなくなるんだ。



プライス・オブ・フリー KAILASH

THE PRICE OF FREE



「プライス・オブ・フリー」東京外国語大学 TUFS Cinema

【日時】2019年 **1月8日** (火) 上映開始 18時30分 (開場 18時00分)

【場所】**東京外国語大学** 府中キャンパス アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
東京都府中市朝日町3-11-1 西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分

※入場無料 申込不要／一般公開／定員501名／日本語字幕あり

※上映後フリートーク 高宮健策(社会学部) 川口マサノリ(現代学術院) 本学事務局×真島一樹(社会学部) 文芸人藤野洋

【主催】東京外国語大学TUFS Cinema 【問合せ】東京外国語大学総務企画課広報係 042-330-6150 soumu-koho@tufs.ac.jp

【協力】東京外国語大学拠点南アジア研究センター (FNIDAS) / 特定非営利法人 ACE / 東京外国語大学学生有志 / 上智大学学生有志



日時 **2019年1月8日 (火) 18:30開映 (18:00開場)**

会場 **東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール**

プログラム

- 『プライス・オブ・フリー』本編上映
- 上映後フリートーク 萬宮健策（本学准教授）× 小田マサノリ（現代美術家、本学非常勤講師）× 真島一郎（本学教授）

その他 入場無料、申込み不要（先着501名）、一般公開

主催：東京外国語大学

協力：東京外国語大学拠点南アジア研究センター（FINDAS）、特定非営利法人ACE、東京外国語大学学生有志、上智大学学生有志

作品紹介

原題： The Price of Free

制作： アメリカ

監督： Derek Doneen

内容： インドの人権活動家カイラシュ・サティヤルティ氏が、どのように子どもたちを児童労働から救出し、グローバルなムーブメントを起こしたかを追ったドキュメンタリー。

上映時間： 1時間32分（※日本語字幕付き）

受賞： サンダンス映画祭 USドキュメンタリー部門グランプリ受賞



カイルシュ・サティヤルティ氏について

「カイルシュ・サティヤルティ子ども財団」創設者
「児童労働に反対するグローバルマーチ」名誉代表
2014年ノーベル平和賞受賞者

1981年から長年児童労働問題に取り組み、救出やリハビリ施設を運営するインドのNGO、BBA（子ども時代を救え運動）を創設。これまで過酷な労働から解放した子どもの数は86,000人に上る。児童労働に反対するグローバルマーチの構想を提案、1998年に5大陸で市民を巻き込みマーチを実現、ILOでの最悪の形態の児童労働条約の採択につなげた。教育のためのグローバルキャンペーンの創設者として、各国の教育支援動員にも成功。児童労働のないカーペットのラベル“Good Weave”を創設し、消費者の意識啓発にも努めてきた。2014年、マララ・ユスフザイさんと共に「子どもや若者の抑圧、またすべての子どもの教育を受ける権利に対する闘い」の功績を認められ、ノーベル平和賞を受賞。

「100ミリオン・キャンペーン」

「100ミリオン・キャンペーン」は、サティヤルティー氏の発案で、世界の子ども・若者に「自由」「安全」「教育」が保障された世界を創るためにアクションを起こそうという世界的なキャンペーンです。1億人の子ども・若者（13歳～25歳）が立ち上がって、社会を改革するための活動を行います。その第一のステップとして、25歳以下の1億人の若者たちに、この映画を見てもらうことを目的としています。

「プライス・オブ・フリー」



2014年ノーベル平和賞受賞者
カイラーシュ・サティヤールティー氏のドキュメンタリー映画

映画「プライス・オブ・フリー（原題 KAILASH）」は、インドの人権活動家であるカイラーシュ・サティヤールティー氏が、30年以上ものあいだ、多くの子どもたちを児童労働からどのように救い出してきたかを追ったドキュメンタリー映画です。サティヤールティー氏は、2014年にノーベル平和賞を受賞しました。この作品は今年のサンダンス映画祭の「USドキュメンタリー部門」でグランプリを受賞しました。このたび、サティヤールティー氏自身の発案による「100ミリオン・キャンペーン」の一環として、東京外国語大学で上映会を開催いたします。



FREE. SAFE. EDUCATED.

「100ミリオン・キャンペーン」

「100ミリオン・キャンペーン」は、サティヤールティー氏の発案で、世界の子ども・若者に「自由」「安全」「教育」が保障された世界を創るためにアクションを起こそうという世界的なキャンペーンです。1億人の子ども・若者(13才から25才)が立ち上がって、社会を改革するための活動を行います。その第一のステップとして、25歳以下の1億人の若者たちに、この映画を見てもらうことを活動の目的としています。

[内容紹介] サティヤールティー氏が大切にしていることの一つに、信頼があります。それは、児童労働が行われている工場から保護した子どもたちとの誠実なコミュニケーションや、意図せず自分の子どもを搾取工場に働きに行かしてしまった親達との会話からも伺えます。しかし同時に、サティヤールティー氏は、子どもたちを危険に晒すもの、つまり、子どもたちを労働力として搾取する工場や、富裕層と癒やし市民を危険に脅かしている警察、そして結果的にこのような不安定さを生み出すことになった資本主義社会のシステムには疑念を抱き続けています。サティヤールティー氏は信頼する心と疑う眼を常に持つことで、社会の中の正しいことと正しくないことを見極めているのです。この映画をきっかけに、一人一人が社会を見つめ直し、自分は何をすべきなのか考えてみてはいかがでしょうか。(東外大・上智大学生 有志)



サンダンス映画祭
USドキュメンタリー部門
グランプリ受賞
2018
原題：KAILASH / THE PRICE OF FREE
監督：デレク・ドネーン
2018年 アメリカ 1時間32分
※日本語字幕付き

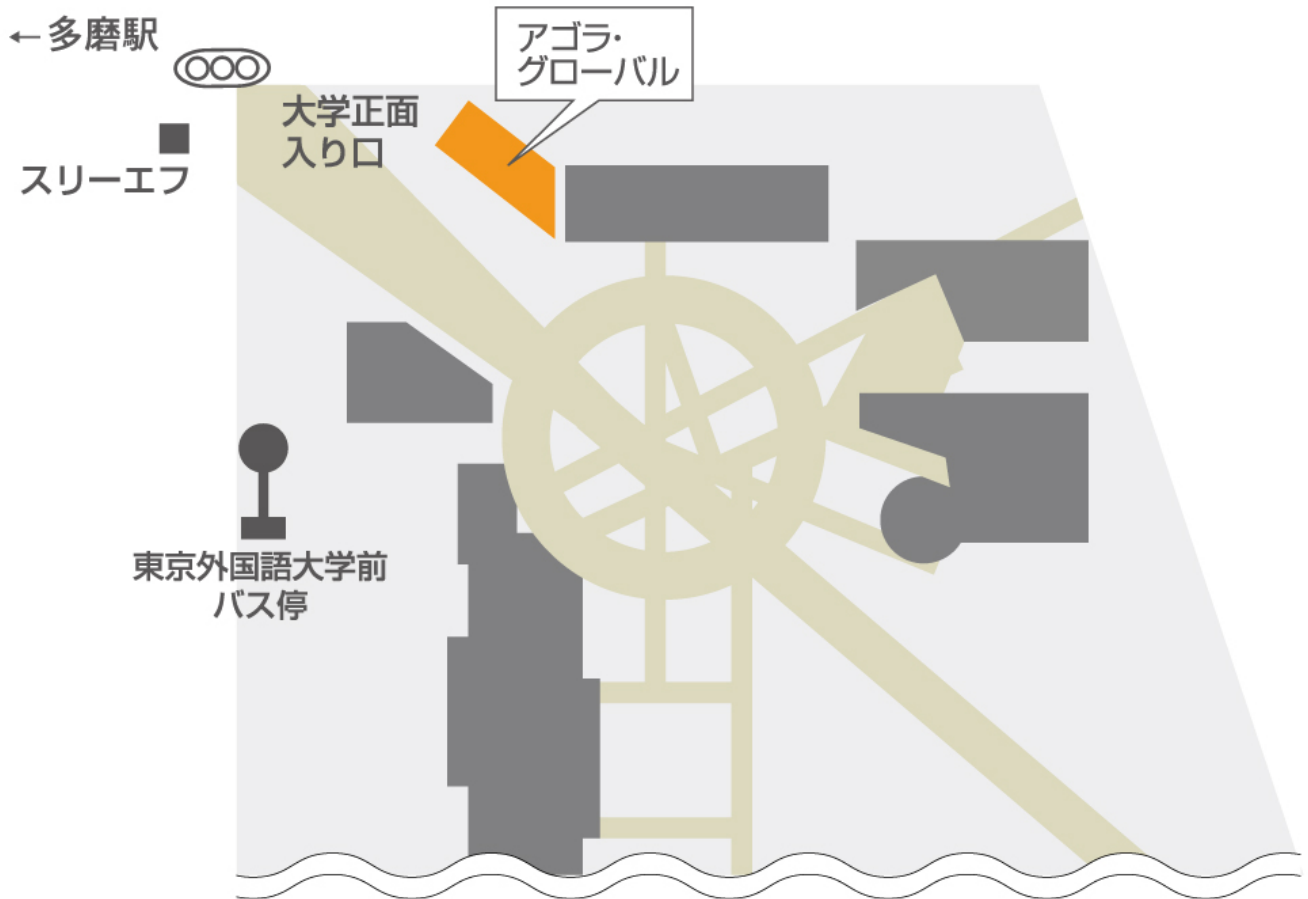
グローバルな発展を追い求める中で、世界のどの地域においても、誰ひとり、除け者にされたり、取り残される者があってはなりません。(ノーベル賞受賞スピーチより)



カイラーシュ・サティヤールティー Kailash Satyarthi

- 「カイラーシュ・サティヤールティー子ども財団」創設者
- 「児童労働に反対するグローバルマーチ」名誉代表
- 2014年ノーベル平和賞受賞者

1981年から長年児童労働問題に取り組み、救出やリハビリ施設を運営するインドのNGO、BBA(子ども時代を救え運動)を創設。これまで過酷な労働から解放した子どもの数は85,000人に上る。児童労働に反対するグローバルマーチの構想を提案、1998年に5大陸で市民を巻き込みマーチを実現、ILOでの最悪の形態の児童労働条約の採択につなげた。教育のためのグローバルキャンペーンの創設者として、各国の教育支援動員にも成功。児童労働のないカーベットのラベル“Good Weave”を創設し、消費者の意識啓発にも努めてきた。2014年、マラーラ・ユースフザイーさんと共に「子どもや若者の抑圧、またすべての子どもの教育を受ける権利に対する闘い」の功績を認められ、ノーベル平和賞を受賞。



キャンパスマップ



お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課（土日祝をのぞく 9:00-17:00）
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
Tel: 042-330-5441

[TUFS Cinemaウェブサイト]

<https://www.tufscinema.jp>

[東京外国語大学ウェブサイト]

<http://www.tufs.ac.jp>

[イベント情報などの配信]

TUFS Cinema 上映会情報は、Facebook／Twitterでも配信しています。TUFS Cinemaファンの皆さま、ぜひフォローしてください。

Facebook: <https://www.facebook.com/tufscinema.pr/>

Twitter: [@tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

<input type="text"/>	検索
----------------------	----



© 2017 Tokyo University of Foreign Studies.
All Rights Reserved.